

平成27年度
事業報告

公益財団法人日本ナショナルトラスト

目次

| | |
|---|-----------|
| I 現況 | 1 |
| 1. 事業 | 1 |
| 2. 役員 | 1 |
| 3. 評議員..... | 2 |
| 4. 事務局..... | 2 |
| 5. 事業資金 | 2 |
| II 理事会・評議員会 | 3 |
| 1. 理事会..... | 3 |
| 2. 評議員会 | 3 |
| III 事業実施の概要 | 4 |
| 1. 調査事業 | 4 |
| 2. 保護事業 | 4 |
| 3. 普及事業 | 9 |
| 4. ネットワーク事業..... | 13 |
| 5. 団体交流事業 | 14 |
| IV 登記事項、届出・報告・申請事項、登録事項 | 16 |
| 別表 東日本大震災自然・文化遺産復興支援プロジェクト助成金交付一覧表..... | 17 |
| 参考 アドバイザー名簿、顧問名簿、参与名簿及び観光資源専門委員名簿..... | 18 |

I 現況

1. 事業

定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 国民的財産として後世に継承するに足る観光資源の認定
- (2) 前号により認定された観光資源(以下「保護対象」という。)の取得及び管理運営
- (3) 観光資源に関する保護活動への支援
- (4) 観光資源に関する保護思想及び知識の普及向上
- (5) 観光資源に関する学術調査研究並びに情報の収集及び提供
- (6) 政府及び関係機関への観光資源の保護に関する建議又は陳情
- (7) この法人の健全な発展を図るために必要な関連事業の経営
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

2. 役員

(1) 平成 28 年 3 月 31 日現在の役員

| | | |
|--------|-------|------------------------|
| 会長 | 梅崎 壽 | 東京地下鉄(株)相談役 |
| 代表理事 | | |
| 副会長 | 川村 恒明 | (公財)文化財建造物保存技術協会顧問 |
| 代表理事 | | |
| 理事長 | 小山 正宣 | 常勤 |
| 業務執行理事 | | |
| 理事 | 厚地 純夫 | 東海旅客鉄道(株)常務執行役員営業本部長 |
| 理事 | 木部 義人 | (公財)日本ナショナルトラスト関西支部長 |
| 理事 | 栗田 亘 | コラムニスト(元・朝日新聞社論説顧問) |
| 理事 | 柴崎 信三 | 元・日本経済新聞社論説委員 |
| 理事 | 柴田 耕介 | 富士通(株)顧問 |
| 理事 | 杉田 房子 | 日本旅行作家協会評議員 |
| 理事 | 杉山 篤史 | (一社)日本民営鉄道協会理事長 |
| 理事 | 鈴木 雅和 | 筑波大学教授 |
| 理事 | 中村 達朗 | (一社)日本旅行業協会理事長 |
| 理事 | 春名 幸一 | 西日本旅客鉄道(株)執行役員東京本部副本部長 |
| 理事 | 日野 正夫 | 東日本旅客鉄道(株)常務取締役 |
| 理事 | 見並 陽一 | (公社)日本観光振興協会理事長 |
| 理事 | 村上 訥一 | 元・文化庁文化財鑑査官 |
| 理事 | 廻 洋子 | 淑徳大学教授 |
| 理事 | 森 まゆみ | 作家 |
| 理事 | 山村 明義 | 東京地下鉄(株)専務取締役 |

| | | |
|----|-------|---------------|
| 理事 | 山村 晋一 | (公財)日本交通公社理事 |
| 監事 | 今村 正 | 税理士 |
| 監事 | 山科 清一 | (公財)鉄道弘済会常務理事 |

3. 評議員

(1) 平成 28 年 3 月 31 日現在の評議員

| | | |
|-----|-------|--------------------|
| 評議員 | 大西 孝夫 | 前・(一財)休暇村協会理事長 |
| 評議員 | 黒野 匡彦 | (一財)運輸政策研究機構会長 |
| 評議員 | 曾我 健 | (公財)NHK交響楽団名誉顧問 |
| 評議員 | 田川 博己 | (株)ジェイティービー代表取締役会長 |
| 評議員 | 堤 哲 | 元・毎日新聞編集委員 |
| 評議員 | 伏屋 和彦 | 元・会計検査院長(元・国税庁長官) |
| 評議員 | 松山 良一 | (独)国際観光振興機構理事長 |

4. 事務局

平成 28 年 3 月 31 日現在の職員 5 名

5. 事業資金

本財団の事業資金は、事業賛助団体からの寄附金並びに個人および団体からの会費等による。

Ⅱ 理事会・評議員会

1. 理事会

(1) 第1回理事会 平成27年5月28日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成26年度事業報告及び決算報告、顧問の選任、参与の委嘱、観光資源専門委員の委嘱、第2次中期計画の策定

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席12名、欠席8名。監事出席2名。

(2) 第2回理事会 平成28年3月8日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成28年度事業計画及び収支予算、平成28年度補助金等の交付申請、特定資産の取崩、諸規程等、定時評議員会の招集の件

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告、平成28年度第1回理事会の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席12名、欠席8名。監事出席2名。

2. 評議員会

(1) 定時評議員会 平成27年6月12日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成26年度事業報告及び決算報告、役員を選任

報告事項 平成27年度事業計画及び収支予算、第2次中期計画、平成26年度第2回、3回、4回理事会及び平成27年度第1回理事会の決議事項

出席等 決議に必要な出席評議員の数4名、出席6名、欠席1名。同席理事2名、同席監事1名。

Ⅲ 事業実施の概要

1 調査事業

(1) 観光資源保護調査

①観光資源保護調査フォローアップ（山梨県甲州市）

平成 16 年度に観光資源保護調査を実施した甲州市塩山下小田原上条が、平成 27 年度に重要伝統的建造物群保存地区に選定された。1 月にこの選定報告会に参加し、当時の関係者に会い情報交換するとともに、今後のまちづくりについて連携を続けることとした。

2 保護事業

(1) 文化財取得保護計画に基づく保護事業

①白川郷合掌造民家(旧寺口家)の修復と管理運営（岐阜県白川村）

活用にむけて、地域おこし協力隊への貸館の試行を継続して実施した。8 月 27 日に白川郷荻町集落において守る会会長及び荻町区長、白川ボックス代表、役場担当者等と白川郷合掌文化館及び旧寺口家管理運営委員会を開催し、今後の管理計画及び平成 28 年秋の屋根葺きの計画についての検討を行った。旧寺口家の一部に雨漏りが発生したため、12 月～翌 1 月に修理を実施した。また、10 月 14 日～15 日には村で行われた「どぶろく祭り」の手伝いに職員が参加し、地元住民との交流を深めた。

《管理運営委員会》和田正人・白川郷荻町集落の自然環境を守る会会長、和田茂・JNT白川ボックス代表/荻町区長、川田裕・白川村老人クラブ長生会会長、倉嘉宏・白川村教育委員会教育長、安藤邦廣・筑波大学名誉教授、杉田房子・日本旅行作家協会評議員(当財団理事)他

②動態保存車両(トラストレイン)の運行と定期点検及び修繕（静岡県大井川鐵道）

4 月～10 月にかけて全 5 回のトラストレイン運行を無事に終了した。8 月 22 日には、次世代を担う子供たちが興味を持ってトラストレインと触れ合う機会を作るためトラストレイン親子ボランティアを企画し、17 名の参加があった。車内アナウンス体験や SL の車体磨きなどを行い、好評を博した。また、12 月 5～6 日には、ボランティアによりスハフ客車内の塗装作業を実施した。2 月 17 日に運営会議を開催し、平成 27 年度の活動報告、平成 28 年度活動計画等について検討を行った。併せて、大井川鐵道株式会社から提案された C12 形タンク式蒸気機関車の譲渡について協議を行った。

＜運転日＞4 月 18 日(5 名)、6 月 13 日(5 名)、7 月 4 日(8 名)、8 月 22 日(17 名)、10 月 3 日(6 名)※8 月 22 日は親子ボランティアを実施

③名勝大乘院庭園保存整備と管理事業（奈良県奈良市）

園池管理については、昨年度から実施している藻の発生防止措置が功を奏し、年間を通じて概ね良好な状態を維持した。6 月 9 日に保護管理委員会を開催し、土台から上はほぼ全体的にシロアリ被害が及んでいる中島反橋の修理および浸食が進行している護岸の復旧等に、今後必要な事業についての検討を行った。さらに、1 月 27 日に開催した保護管理委員会では、具体的な事業の進め方や手法等を検討し、その上で、平成 28 年度からの国庫補助の申請を行った。また、維持管理については、日常作業に加え、枯損したクロマツ及びモミジの伐採撤去を行った。公開面では、8 月 7 日～8 日に公開時間を 2 時間延長して「燈花会」を実施し、約 340 名が来場した。「観月の夕べ」を仲秋の名月に合わ

せた9月27日に実施し、181人が来場し好評を得た。

《保護管理委員会》松村恵司・奈良文化財研究所所長、尼崎博正・京都造形芸術大学教授(当財団
観光資源専門委員) 他

入園者数 11,577名 ロケーション利用等 25件

* 一部奈良県および奈良市補助事業

④東京都名勝 旧安田楠雄邸庭園の修復と管理事業 (東京都文京区)

修復事業については、10月1日に第1回構造補強検討会を開催し、構造性能調査計画の検討及び9月に行った旧前田家本邸(和館)の工事見学会に関する意見交換等を行った。11月10日に保護管理委員会を開催し、調査計画について承認を得て、12月23日から26日まで構造性能調査を実施した。この保護管理委員会では、上記構造性能調査の他、建物修理工事計画、定期修繕・剪定計画、公開・利用計画について検討を行った。また、管理活用事業については、活用ワーキング会議を月に1回開催し、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会や専門家と協議を図りながら「端午(5月)」「七夕(7月)」「重陽(10月)」「人日(1月)」「上巳(3月)」の五節句行事等の各種イベントの実施や撮影等の貸館対応など適正な活用に努めた。また、東京文化財ウィークへの参加や「東京の日本庭園おもてなし協議会」(事務局：東京都建設局)の東京いい庭キャンペーンへの参画など自治体による文化的活動にも協力するとともに様々な人々と連携し、取り組みを実施した。その他、東京メトロと連携し、同社発行のカード「To Me CARD」のポイントで旧安田楠雄邸庭園に寄付ができるポイントサービスを導入した。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授(当財団観光資源専門委員)、樋渡達也・前文化財指定庭園保護協議会会長、河東義之・小山工業高等専門学校名誉教授、内田青蔵・神奈川大学教授、服部勉・東京農業大学教授 他

一般公開 7,429名(公開日数 107日)、貸館・団体見学・マスコミ等 33件

⑤京都市指定文化財 駒井家住宅の修復と管理事業 (京都府京都市)

修理事業については、パーゴラ上部の桁・梁材に劣化がみられ、端部が崩落寸前の状態であったため取り外し、8月に工事を完了した。庭園管理については、10月21日のワーキング会議で定期剪定に関する協議を行い、導入を決定した。また、京都造形芸術大学環境デザイン学科による造園実習を実施した。管理業務については、7月にボランティア活動のための環境整備及び防犯防災対策として、離れの整備等を実施した他、地域との連携を深めるべく8月16日にボランティア及び地域住民のための送り火鑑賞会を実施した。10月1日～(翌年9月30日まで)「きものの似合うまち・京都」実行委員会が主催する「京都きものパスポート事業」に協力し、特典として来館者にポストカードを贈呈している。11月1日～12月12日の公開日に、秋の特別公開を開催し、米軍に占領されていた接收時代の様子がうかがえる古写真等を展示公開するとともに、接收時代をテーマに講習会を開催し好評を得た。また、3月1日～(5月31日まで)叡山電鉄株式会社が提案する「阪急友の会」会員の招待企画に協力し、叡山電鉄・阪急電車の「往復乗車券」と駒井家住宅の「入館券(兼 記念品引換券)」がセットになった「利用券」を進呈していた。

《保護管理委員会》三村浩史・京都大学名誉教授(当財団観光資源専門委員)、尼崎博正・京都造形芸術大学教授(当財団観光資源専門委員)、山形政昭・大阪芸術大学教授、松井正文・京都大学名誉教授 他

一般公開 1,404名(公開日数 64日)、貸館・団体見学・マスコミ等 26件

* 一部京都市補助事業

⑥旧モーガン邸の管理事業 (神奈川県藤沢市)

平成 23 年度より実施している JNT と特定非営利活動法人旧モーガン邸を守る会による活用試行を今年度も継続的に実施した。月 1 回の庭園公開とイベントを実施しており、今年度も順調に推移した。日常の維持管理については、守る会との管理委託契約に基づき、1ヶ月に1回の清掃ボランティア活動を継続的に実施した。また、(一社)日本建設業連合会の社会貢献の一環として庭園清掃のボランティア活動の受入を行った。藤沢市を主体とする公園化にむけて遺構表示の具体的内容、土地譲渡の条件等について藤沢市と調整を進めていたが、交渉が難航した。このため、藤沢市主導で藤沢市・JNT・守る会の三者による協議の場を設け、調整を行っているもののそれぞれの立場の違いにより交渉は進んでいない。また、焼失した上屋の安全対策として周囲への防護柵の補強、ネットの設置工事等については管理運営に関わるメンバーで構成された世話人会での同意を得て、年内に工事が完了した。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授(当財団観光資源専門委員)、吉田綱市・横浜国立大学教授、亀山章東京農工大学名誉教授、村上詠一・元・文化庁文化財鑑査官(当財団理事)、大野敏・横浜国立大学教授、水沼淑子・関東学院大学教授、菅孝能・山手総合計画研究所代表取締役 他

⑦文化財取得保護計画募金計画の継続

文化財取得保護計画における募金計画の成果を受けて、各保護資産においてさらに利活用を目指した修復を実施するために、経済界および関係諸団体、会員などに対し広く呼びかけを行い、募金活動を推進した。

(2)その他の保護事業

①天心遺跡記念公園及び天心墓地の保護管理 (茨城県北茨城市)

天心遺跡記念公園においては、定期的な除草、清掃作業を実施した。天心墓地では、除草作業と月2回の点検と供花に加え、階段部分が一部欠落したため、復旧作業を行った。また、茨城大学五浦美術文化研究所が主催する「観月会 2015」(会期 10月17日～11月15日)に対し後援を行うなど周辺の天心関連施設との連携を図りながら公開事業を促進した。

《保護管理委員会》豊田稔・岡倉天心偉績顕彰会会長、小泉晋弥・茨城大学教授、猪瀬幸己・茨城県立天心記念五浦美術館館長 他

* 北茨城市補助事業

②ED70形1号交流電気機関車の保護管理 (滋賀県長浜市)

西日本旅客鉄道(株)寄贈のED70形1号交流電気機関車について長浜市民やボランティアによる保護管理を行い、広く一般に公開している。また、平成 22 年度からジェイアール西日本商事(株)により商品化された「ED70-1 ナンバープレート」については引き続き、連携して販売・普及に努めた。さらに、売り上げの一部を当財団に寄付することを条件にED70のイラストを利用した菓子については、昨年度から販売を開始し今年度も引き続き販売を行った。

③巻機山の景観保全（新潟県南魚沼市）

昨年度より準備を進めていた報告書「巻機山 景観と植生の復元 38年の成果」を発行し、関係者及びこれまでボランティアにご協力いただいた方や寄付者に対して配布を行った。また、7月25日に巻機山ボランティアーズ、南魚沼市及び当財団が呼びかけ人となり、「巻機山ボランティア活動の今後に関する意見交換会」を開催した。新潟県、南魚沼市、東京農業大学、地元住民、ボランティア参加者など23名が出席し、今後の協力体制などについて意見交換を行った。景観保全活動としては、8月22日～24日までボランティアによる植生復元のための採種、追播種や牛ヶ岳の登山道の整備等を実施した。

活動実施日 夏季活動:8月22日～24日

参加者総計 15名

④東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクトの実施

東日本大震災で被災した自然・文化遺産について、地域(まち)の“シンボル”でありながら、国や地方公共団体による支援の及ぶにくいものに対し復旧・復興を支援する「SEEDS OF FURUSATO～東日本大震災自然・文化遺産復興支援プロジェクト～」を引き続き推進した。昨年度採択した第四次支援事業11件(建造物・記念物8件、民俗文化財・無形文化財3件)の支援事業を実施した。うち10件の事業が完了し、地域のまちづくりの拠点及び観光資源としての利活用が期待される。震災より5年の節目を迎え、今後は新たなソフト的支援に転換を図っていくこととなる。募金については、呼びかけを継続するとともに(株)ジェイアール西日本ホテル開発が所有する各ホテルで、プロジェクトへの募金を組み込んだ宿泊プラン等の販売を継続していただいた。

【募金の状況】

本年度は、法人105,659円、個人237,500円、パートナー事業3,500円合計346,659円の募金が寄せられた。(平成28年3月末累計67,371,929円)

(3)ヘリテイジセンターの管理運営

①葛城の道歴史文化館の管理運営（奈良県御所市）

平成23年度に(一財)日本宝くじ協会の助成事業として、内装及び外装工事の他、トイレ等水回りの改修、冷暖房設備の新設、電気設備改修等を実施し、展示についても御所市の予算により、葛城古道の航空写真を新設したほか展示を一新したことで、来館者へのサービス充実も図れ、好評を得ている。葛城古道の散策の拠点として活用されている。(入館者数 9,880名)

②飛騨の匠文化館の管理運営（岐阜県飛騨市）

収益の向上と「飛騨の匠を中心としたまちづくり」を目指した取り組みを重点的に行った。具体的には、8月6日に飛騨市内の小学生を対象に「匠塾」を実施し、飛騨の匠についての体験学習を行った他、8月18日には匠塾の先進事例である加子母木匠塾の視察を行った。さらに収益アップとマーケティングを目的として8月に台東区上野で行われた「飛騨市魅力パーク」に出店し木工品等の販売を行った。その他、フェイスブックの開設や飛騨市内の情報サイトとの連携等、積極的に広報活動を行った。(入館者数 6,743名)

③白川郷合掌文化館(旧松井家)の管理運営（岐阜県白川村）

管理運営については安定した体制での管理を目的に、白川村在住の JNT 会員からなる白川ボックスと管理業務委託契約を締結し、日常点検や清掃、軽微な修理、屋根のメンテナンス等を実施した。6 月 25 日には夏季開館前の清掃を行った後、白川ボックス総会を開催し、事業報告および計画について検討を行った。一般公開等の活用としては、8 月 1 日～8 月 31 日に夏季開館を実施した。8 月 27 日には白川郷合掌文化館及び旧寺口家管理運営委員会が開催され、白川郷合掌文化館の茅葺屋根葺き替え事業についての協議などが行われた。(入館者数 約 2,500 名)

④名勝大乗院庭園文化館の管理運営 (奈良県奈良市)

「文化サロン」や「庭園講座」等を実施したほか、庭園との共催で仲秋の名月に合わせた「観月の夕べ」を 9 月 27 日に実施、お茶席も設け大変好評であった。また、恒例となった「なら燈花会」に併せてフォークライブや「珠光茶会」など奈良での大きな観光イベントの会場に利用され、来館者も着実に増加した。2 月には入館者が 100 万人を突破し、奈良市並びに館の指定管理者である(株)奈良ホテルより 100 万人目となったお客様へ記念品贈呈するなどセレモニーが行われ、地元でも大きな話題となった。(入館者数 51,702 名)

⑤長浜鉄道文化館の管理運営 (滋賀県長浜市)

鉄道錦絵展(3 月 17 日～6 月 16 日)やアイデア記念切符展(6 月 18 日～8 月 31 日)、慶雲館との連動企画として特別企画「おもちゃで遊ぼう夏休み」(7 月 18 日～8 月 31 日)などの特別展示を積極的に行い、まちづくりの拠点としての役割を發揮した。(入館者数 54,707 名※長浜鉄道スクエアとしての入館者)

⑥琴引浜鳴き砂文化館の管理運営 (京都府京丹後市)

特別展示として、山陰海岸ジオパーク写真コンクール入賞作品写真展や、夏休み企画として「日本のトンボ、世界の珍虫奇虫 昆虫標本展」を開催した。さらに、自主事業として「琴引浜を詠む句会ガイドウォーク」や琴引浜自然教室などの体験ツアー、海浜植物の増殖・販売なども行った。教育機関とも連携し、網野高校ボランティアの受入などに取り組み、将来の地域づくりを担う人材育成を行うなど、積極的な活用がなされた。また、6 月にケネディ駐日大使が来館し、見学や地域住民との懇談を行い、社会的に大きな注目を浴びた。(入館者数 12,361 名)

⑦北陸線電化記念館の管理運営 (滋賀県長浜市)

D51 型蒸気機関車と ED70 型 1 号交流電気機関車を通年内部公開すると共に、車輛レイアウト(Nゲージ・Gゲージ)展示を行った。その他、特別展示としてちびっこぬり絵展(9/19～10/16)等の企画を行った。(入館者数 54,707 名※長浜鉄道スクエアとしての入館者)

⑧村上歴史文化館の管理運営 (新潟県村上市)

(公財)イヨボヤの里開発公社により、常設展に加え、特別展として、平成 16 年度から平成 18 年度にかけて発掘調査が行われた「春木山遺跡」からの出土品の展示を行う「村上市発掘資料展～春木山遺跡編～」、第 32 回城下町村上に伝わるひな人形展を開催した。その他村上で活動を行う団体との協力事業としてコンサート等が開催され、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。(入館者数 21,791 名)

⑨四国鉄道文化館の管理運営（愛媛県西条市）

昨年新たに建設された四国鉄道文化館南館と十河信二記念館、観光交流センターとともに形成される「鉄道歴史パーク in SAIJO」として、地域の賑わいの拠点となっている。今年は、南館一周年イベントとして、無料開放デーやミニ SL 乗車会を実施するとともに、姉妹館協定を締結している新潟市新津鉄道資料館との関係から新潟市観光物産展等を開催し、一日2千人を超える来場者があった。また、「ペーパークラフト教室」や「軌道自転車乗車会」等の定期的イベントに加え、新幹線開業50周年記念イベントやミニ SL 乗車会に実施し、好評を得た。（入館者数 57,461名）

⑩各ヘリテイジセンター間の連携

12月に第1回目の「ヘリテイジセンター関係者会議」を開催した。地域資源を活かしたまちづくりの拠点としてのヘリテイジセンターの機能を高め、地域活性化に寄与できるよう課題を共有し、活発な意見交換を行った。

日 時：12月1日

場 所：学士会館（東京都千代田区）

出席者：葛城の道歴史文化館、名勝旧大乘院庭園、長浜鉄道文化館・北陸線電化記念館、琴引浜鳴き砂文化館、村上歴史文化館、四国鉄道文化館及び小山理事長、木部関西支部長

3 普及事業

(1) 会員事業

① 見学会・催し物等の開催

(ア) トラストトレイン

・トラストトレイン運行

< 運転日及びボランティア参加者数 >

4月18日(5名)、6月13日(5名)、7月4日(8名)、8月22日(17名)、10月3日(6名)

※8月22日は親子ボランティアを実施

・ボランティア活動安全講習会とスハフ塗り直しボランティア

< 実施日及び参加者数 >

12月5～6日（9名）

(イ) 旧安田楠雄邸庭園

4月11日 防空壕公開

5月2日～6日連続公開 端午の節句

6月6日 福楽寄席

7月1日及び4日 七夕の節句

7月11日 新内節の夕べ

8月8日 防空壕公開

9月26日 語りと和楽

9月中公開日 北村四海作 大理石彫刻公開

10月14～24日の公開日 重陽の節句

10月31日～11月8日の公開日・・・東京文化財ウィーク
11月14日～12月6日の公開日・・・いい庭キャンペーン
12月13日・・・・・・・・・・・・・・・・・・木工ワークショップ（掲示板づくり）
1月6日・・・・・・・・・・・・・・・・・・人日の節句
2月27日～3月2日連続公開・・・上巳の節句
3月26日・・・・・・・・・・・・・・・・・・しだれ桜と琵琶の夕べ

(ウ) 駒井家住宅

11月1日～12月12日・・・・・・・・・・秋の特別公開
8月16日・・・・・・・・・・・・・・・・・・ボランティア及び地域住民のための送り火鑑賞会
3月1日～(5月31日)・・・・・・・・・・阪急友の会「平成28年 春のご招待」

② 会員活動の支援

当財団は会員の自主的な活動に対して、様々な支援を行った。

(ア) 地域活動

白川ボックス／ヘリテージセンター白川郷合掌文化館の開館・建物維持管理

4月・・・・・・・・・・・・・・・・・・雪囲いはずし
7月28日・・・・・・・・・・・・・・・・・・合掌文化館 清掃
8月1日～8月31日・・・合掌文化館 開館
12月・・・・・・・・・・・・・・・・・・合掌文化館 雪囲い
1月・・・・・・・・・・・・・・・・・・合掌文化館 雪降ろし

(イ) サークル活動

A. 鉄道サークル／会合等

B. 民家サークル／ 総会、見学会、サークルニュース発行等

4月18日・・・・・・・・・・・・・・・・・・総会
6月20日・・・・・・・・・・・・・・・・・・見学会「ジョンソンタウン、武蔵豊岡教会 他」
10月10日～11日・・・・・・・北陸見学会「高岡市、南砺市五箇山」
11月3日・・・・・・・・・・・・・・・・・・見学会「旧丸山変電所、碓氷峠」
1月23日・・・・・・・・・・・・・・・・・・見学会「稲毛・千葉市の町並みと新年会」

③ 会員増加キャンペーンの継続

関連団体及び企業の協力により、入会申込書の配布や設置、ポスター掲出等を行い、入会促進に努めた。また、期間限定で以下のキャンペーンを行った。

(ア) 入会金無料キャンペーン

1月1日から3月31日までに入会した方を対象として入会金を無料にするキャンペーンを実施した。

(イ) プラスワンキャンペーン

4月1日から5月31日まで会員の紹介者に対して入会金無料及び会報のバックナンバー無料のキャ

ンペーンを行い、積極的にPRした。

(ウ)会員サービスの拡充

会員優待施設の増加や優待内容の充実を図り、会員の継続に努めた。

(2)広報事業

①会報「日本ナショナルトラスト報」の発行・配布(隔月刊)

年間6回の発行で紙面の充実した会報作りを行っている。会員へ配布するとともに、事業協力者へも広く頒布し、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。

<体裁>B5 16頁 (512号のみ20頁) <発行部数>3,000部 <通巻>507号~512号

507号 特集「登録有形文化財(建造物)1万件到達」

508号 特集「今年のしごと」

509号 特集「全国近代化遺産活用連絡協議会 フォーラム in 佐世保を開催」

510号 特集「SEEDS OF FURUSATO 進捗報告 新むつ旅館補修完了」

511号 特集「会員の集い開催」

512号 特集「白川郷の今、そして未来へ 世界遺産20周年」(増頁)

②メールマガジンなどの普及宣伝ツールの充実

月2回程度メールマガジンを配信し、会員および事業協力者へのタイムリーな情報発信を図るほか、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。(登録者数 約300名)

③広報宣伝活動の強化

(ア)「学生観光論文コンテスト」の実施

(一財)日本ホテル教育センターとの共催により第5回学生観光論文コンテストを実施した。

1月14日に審査委員会が行なわれ、45編の応募の中から最優秀賞1編、優秀賞2編が選定された。また、2月16日に第44回国際ホテル・レストラン・ショー(東京ビッグサイト)会場内にて表彰式が執り行われ、大阪外語専門学校 国際観光・ホテル・ブライダル科1年2名に対し「公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞」を授与した。

・最優秀賞【観光庁長官賞】

東洋英和女学院大学 国際社会学部国際社会学科 長谷川かおりゼミ3年

長谷川美咲(代表)・斎藤美波・深田あかり・武田ありさ

テーマ「産学連携によるMICE促進プログラム」

・優秀賞【(公財)日本ナショナルトラスト会長賞】

大阪外語専門学校 国際観光・ホテル・ブライダル科1年

新居美鈴(代表)・辻あゆみ

テーマ「資産価値の認識を目的とした観光コースの作成など」—語学・観光系専門学校との実務レベルでの「産学連携」の提案—

・優秀賞【(一社)全日本シティホテル連盟会長賞】

明治大学 政治経済学部経済学科 応用マクロ・ミクロ経済学ゼミ3年

池野秀磨（代表）・米永恭太郎

テーマ「社寺のM I C E関連利用拡大を促進・支援する組織の設立」—魅力的なユニークベニューの活用でM I C E競争力を強化する—

(イ)「ツーリズム EXPO ジャパン 2015」に参加

9月24日～27日に東京ビッグサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン 2015」において(一社)日本旅行業協会の協力のもと、同協会が運営する社会貢献ブースにて当財団のPR活動を実施した。今年は、会員からボランティアを募集し、スタッフとともに入会や募金等呼び掛け、当財団の活動に興味を持っていただいた多くの方々から募金を頂戴した。

(ウ)関係団体の広報協力

旧安田楠雄邸庭園について JR 東日本の各媒体において継続的に取り上げていただいているほか、東京メトロでも根津駅及び千駄木駅の地域ポケットコーナーにイベントのチラシを置いていただいた。駒井家住宅及び旧大乘院庭園については、JR 西日本や叡山電鉄から継続的に広報協力を得ており、プロパティ及びプロジェクトを通じ、広く当財団の紹介を行っていただいた。JR 東海と JR 西日本のご協力により新幹線搭載誌「ひととき」に定期的に当財団のPRページを提供いただいた。また、地下鉄博物館(東京都江戸川区)において、パンフレット及びトラストレインの保護を呼び掛ける募金箱を設置していただいた。さらに東京メトロ主催「わくわくキッズまつり 2015 in 新木場」や「メトロファミリーパーク in AYASE」に参加し、トラストレイン事業への協力を呼び掛けるなど多くの関係企業・団体にご協力をいただき、大きな効果があった。

(エ)学生への普及活動

ノースアジア大学法学部からの依頼を受け、当財団の専門研究員を派遣して講演を行った。

日時：11月6日

場所：ノースアジア大学法学部棟(秋田県秋田市)

テーマ：トラスト運動の現状と課題～特に歴史的景観の保存と再生～

参加者：約170名

(オ)ホームページのリニューアル

ホームページのリニューアルに向けて、コンセプトや構成、デザインの検討を行った。

(3)その他普及事業

①地域遺産支援プログラム(仮称)の実施

白川村において、JNT共催イベント「われらがつくる茅ニュープロジェクト」(10月30日茅刈体験コース、11月9日茅ニュー作り体験コース)を試行した。このプログラムのモデル事業として、毎年茅刈イベントを実施する予定である。また、事業のコンセプト等を検討するワーキングを立ち上げ、今後の事業展開に向けての準備を進めている。

②「会員の集い 2015」の開催

国登録有形文化財・学士会館にて「参加のかたち」をテーマに会員の集いを開催した。永年会

員に対しての表彰、事業の報告、白川郷合掌造民家、トラストトレイン及びヘリテージセンター琴引浜鳴き砂文化館の近況報告、さらに会員やボランティア等いろいろな形で当財団の活動に参加している方を交えたトークセッションを行った。会の終了後には立食形式で意見交換会を行い、会員相互の交流を促進した。また、会場には募金箱を設置し、協力を呼びかけた。この時に回収したアンケート結果は、3月発行の「日本ナショナルトラスト報 512号別冊」として会員及び関係各所に広く配布した。

<日時> 12月1日

<会場> 学士会館(東京都千代田区)

<参加者数> 約50名

③永年会員顕彰

入会10周年、20周年、30周年、40周年を迎える会員に対し、感謝状と記念バッジを贈呈した。贈呈式は、「会員の集い」の中で執り行った。

4 ネットワーク事業

(1)各ネットワーク事務局の運営支援と連携協力

①「全国鳴砂ネットワーク」への支援

鳥取県鳥取市で行われた総会及びサミットに出席した。今年のサミットは、「ジオパークにおける鳴り砂の保全と活用」をテーマとして開催された。山陰海岸ジオパークにおける鳴り砂の魅力についての基調講演や各地からの保全に関する取り組み等が報告された。また地元小学生による「鳴り砂サミット宣言」が行われ、自然の宝である鳴り砂を守り環境にやさしい町づくりを目指すことが確認された。

<会期> 9月12～13日

<会場> 鳥取県鳥取市

<参加者数> 約130名

②「全国近代化遺産活用連絡協議会」への支援

長崎県佐世保市で開催された総会・フォーラム等に出席した。旧海軍によって建設され、かつ現在も稼働している近代化遺産が多数存在する佐世保市において、「稼働資産の保護」をテーマにしたフォーラムが行われた。開催地よる報告、海外の専門家による講演、各地の稼働資産所有者による公開討論会等が行われた。

<会期> 8月6日～8日

<会場> 長崎県佐世保市

<参加者数> 約100名

③「(一社)日本茅葺き文化協会」への支援

全国茅葺き民家保存活用ネットワーク協議会を前身として、(一社)日本茅葺き文化協会が設立され、現在は団体会員として加入している。東広島市で開催された総会及び第6回茅葺きフォーラムに出席し、次年度以降に実施予定の白川郷合掌文化館(旧松井家)の屋根葺きについて協力要請を行

うとともに情報交換・交流を図った。

<会期> 6月6日～7日

<会場> 広島県東広島市

<参加者数> 約90名

④「湘南邸宅文化ネットワーク協議会」への支援

会員として参画し、協力を継続している。茅ヶ崎市で開催された総会に出席した。

<会期> 6月19日

<会場> 神奈川県茅ヶ崎市

<参加者数> 約30名

⑤「ヴォーリス建築文化全国ネットワーク」への支援

会員として参画し、協力を継続している。

5 団体交流事業

当財団は文化財や自然環境の保護・保全を目的とする各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を行った。また、国内の諸団体や海外のナショナルトラストをはじめとする環境保全団体等と連携を行い、情報収集に努めた。

(1) 国内交流事業

① 国内保護団体との連絡連携及び情報の交換

(ア) 「第38回全国町並みゼミ豊岡大会」に参加

全国で町並み保存に関わる地域住民や研究者、専門家が年に一度集まり、情報交換や勉強を行う大会に出席した。兵庫県豊岡市にて、「ふるさとよみがえりへの想い～コウノトリ舞う豊岡にて～」をテーマに開催され、市内4地域の現況報告や保存・管理の問題点や課題について協議した。

<会期> 6月12日～14日

<会場> 兵庫県豊岡市

<参加者> 約120名

(イ) 第43回歴史的景観都市協議会総会出席

国土交通省、農林水産省、文化庁はじめ、伝統的な市街地景観の保全を図っている46自治体等が全国から集まり、施策などについて議論を行う歴史的景観都市協議会総会に職員がオブザーバーとして出席した。歴史的風致維持向上計画や文化的景観に関する情報交換を行った。

<会期> 10月29日～30日

<会場> 岡山県高梁市

<参加者> 約90名

(ウ) 観光立国推進協議会への出席

1月19日に開催された100企業・団体が参画する観光立国推進協議会に出席した。協議会において「観光立国実現に向けた提言」が取りまとめられ、田村観光庁長官に提出した。

<会期>1月19日

<会場>東京プリンスホテル

②登録を行っている諸団体

(公社)京都市観光協会、(公社)国際観光施設協会、(社)日本観光振興協会、(社)日本観光通訳協会、(一社)日本茅葺き文化協会、(公財)日本交通公社、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会、一水会、文化財保存全国協議会、産業考古学会、鉄道友の会、日本鉄道保存協会、全国近代化遺産活用連絡協議会、湘南邸宅文化ネットワーク協議会、ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

(2)国際交流事業

①海外保護団体との連絡連携及び情報の交換等、国際交流の推進

本年度も歴史遺産・自然環境の保護・保全を目的とするナショナルトラスト活動を行う世界各国の各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を努めた。

<交流を図っている団体>

英国ナショナルトラスト(名誉会員)

米国ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

オーストラリア・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ニュージーランド・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

クイーンエリザベス二世ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ジョージア州ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

フィジー・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

バミューダ・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

IV 登記事項、届出・報告・申請事項

1. 登記事項

平成 27 年 6 月 12 日

・酒井俊臣理事、原口宰理事の退任、春名幸一理事、日野正夫理事の就任

2. 届出・報告・申請事項

平成 27 年 6 月 30 日

・事業報告等の提出(内閣府)

平成 27 年 7 月 7 日

・理事の変更届出(内閣府)

平成 28 年 3 月 30 日

・事業計画書等の提出(内閣府)

V 訃報

観光資源専門委員 大河 直躬先生が 9 月 13 日に肺炎にて逝去 (享年 86 歳)

別表

東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクト助成金交付一覧表

(単位:円)

| | No. | 所在地 | | 対象遺産名 | 交付額 | 事業概要 |
|------------|----------|---------|-----------|--------------------|-----------|--|
| | | 第四次支援事業 | 【建造物・記念物】 | 1 | 青森県 八戸市 | 新むつ旅館本館 |
| 2 | 岩手県 一関市 | | | 八幡神社 | 1,500,000 | 本殿および拝殿の屋根銅板葺き替えおよび損傷箇所の修理、床下コンクリート舗装等 |
| 3 | 岩手県 一関市 | | | 八幡神社本殿 | 500,000 | 石垣復旧工事および石碑本復旧工事 |
| 4 | 宮城県 石巻市 | | | 五十鈴神社 | 1,573,100 | 鳥居の修復、社殿の不陸修正、参道の修繕 |
| 5 | 福島県 福島市 | | | 瀬上嶋貫本家 | 2,000,000 | 屋根の葺き替え |
| 6 | 福島県 白河市 | | | 後鳥羽上皇歌碑 | 1,800,000 | 石材の取り外しおよび組み直し |
| 7 | 茨城県 つくば市 | | | 旧矢中家住宅 主屋 | 500,000 | 主屋の西側外壁修復 |
| 【民俗・無形文化財】 | 8 | | 岩手県 大船渡市 | 浦浜念仏剣舞 | 400,000 | 稽古用鏡等の購入 |
| | 9 | | 岩手県 陸前高田市 | 広田御祝い | 400,000 | 団体旗、フライキ(福来旗)、踊り用腰みの購入 |
| | 10 | | 岩手県 一関市 | 金沢八幡神社大名行列(遷宮記念行列) | 300,000 | 大鳥毛、大熊毛の購入 |
| 合計 | | | | | 9,973,100 | |

参考

アドバイザー名簿（平成 28 年 3 月 31 日現在）

アドバイザー 大塚 陸毅 東日本旅客鉄道株式会社相談役

以上 1 名

顧問名簿（平成 28 年 3 月 31 日現在）

| | | |
|----|-------------------|----------------------|
| 顧問 | 石原 進 | 九州旅客鉄道(株)相談役 |
| 顧問 | 石渡 恒夫 | 京浜急行電鉄(株)取締役会長 |
| 顧問 | 大須賀 頼彦 | 小田急電鉄(株)取締役会長 |
| 顧問 | 大橋 洋治 | ANA ホールディングス(株)取締役会長 |
| 顧問 | 奥 義光 | 東京地下鉄(株)代表取締役社長 |
| 顧問 | 尾関 宗園 | 大徳寺大仙院閑栖 |
| 顧問 | 小山 薫堂 | 放送作家 |
| 顧問 | 佐々木 隆之 | 西日本旅客鉄道(株)取締役会長 |
| 顧問 | 須田 寛 | 東海旅客鉄道(株)相談役 |
| 顧問 | 須田 征男 | 北海道旅客鉄道(株)代表取締役会長 |
| 顧問 | 清野 智 | 東日本旅客鉄道(株)取締役会長 |
| 顧問 | 高橋 壽夫 | 日本空港ビルデング(株)顧問 |
| 顧問 | 筒居 博司 | 前・(公財)日本ナショナルトラスト理事長 |
| 顧問 | 夏目 誠 | 成田国際空港(株)代表取締役社長 |
| 顧問 | 根津 嘉澄 | 東武鉄道(株)取締役社長 |
| 顧問 | 伏見 勝 | 元・報知新聞社最高顧問 |
| 顧問 | 松田 清宏 | 四国旅客鉄道(株)代表取締役会長 |
| 顧問 | MARI CHRISTINE | 異文化コミュニケーター |
| 顧問 | 三浦 朱門 | 日本芸術院長 |
| 顧問 | 村田 光平 | 地球システム・倫理学会常任理事 |
| 顧問 | 山本 亜土 | 名古屋鉄道(株)代表取締役会長 |

以上 21 名

参与名簿（平成 28 年 3 月 31 日現在）

参与 木戸 寛孝 NPO 法人世界連邦 21 世紀フォーラム理事長

以上 1 名

観光資源専門委員名簿（平成 28 年 3 月 31 日現在）

| | | | |
|----------|----|----|----------------|
| 観光資源専門委員 | 尼崎 | 博正 | 京都造形芸術大学教授 |
| 観光資源専門委員 | 井手 | 久登 | 東京大学名誉教授 |
| 観光資源専門委員 | 大塚 | 初重 | 明治大学名誉教授 |
| 観光資源専門委員 | 西村 | 幸夫 | 東京大学教授 |
| 観光資源専門委員 | 三隅 | 治雄 | 東京文化財研究所 名誉研究員 |
| 観光資源専門委員 | 三村 | 浩史 | 京都大学名誉教授 |
| 観光資源専門委員 | 宮脇 | 昭 | 横浜国立大学名誉教授 |

以上 7 名